

テーマ名：一般撮影室における患者様のプライバシーを守ろう

あらかみ ふみひで

(財)小倉地区医療協会 三萩野病院 放射線科

発表者 荒上 文秀

テーマ選定理由

病院方針:患者様本位の医療サービスを提供します

放射線科方針:日常管理に力を入れる

サークル方針:患者様へのサービスを徹底させ、効率の良いサービスを工夫する

図1.マトリックス図

評価点	10	9	8	ウェイト付け			4	3	5	5	3	4	評価点	総合評価点	順位
	方針			上位方針	問題点 課題点	評価項目	改善要求度		メンバーの能力						
	病院方針に マッチするか	放射線科の方針に マッチするか	サークル方針に マッチするか				緊急性	重要性	実現性	自分達で 解決できるか	6ヶ月で 解決できるか	メンバー全員で 取り組めるか			
135	○	○	○	患者様のプライバシーが守られていない			○	○	○	○	○	○	120	255	1
108	○	△	○	断層台に対して患者様からクレームがある。			△	△	△	△	△	△	48	156	8
75	○	○	○	伝票の記載に不備があり、検査開始が遅れ、患者様を待たす。			○	○	○	○	○	○	20	60	3
108	○	△	○	立位撮影台から臥位撮影台に移る時、患者様から「キツイ」の声が出る			△	△	△	○	○	○	93	201	4

マトリックス表で評価した結果、「患者様のプライバシーが守られていない」が1位に選ばれた

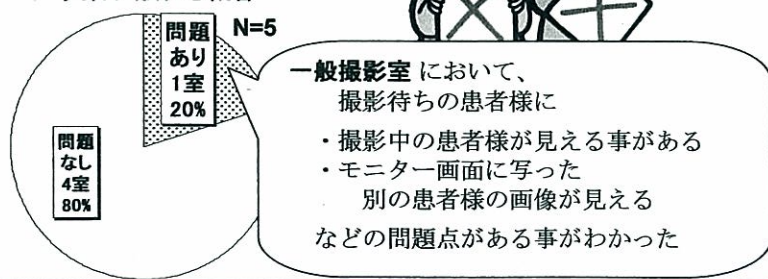
【問題点の背景】

当院は、平成20年11月に病院機能評価の認定更新予定で、院内の再点検を行なっています。そのような中、院長先生から「放射線科は撮影待ちの患者様が外から見えないように、入り口にカーテンをつけなさい!」とお言葉。病院機能評価 統合版v.4.0 評価項目で確認した所、『項目3.5.1.4:検査、処置行為が人目に触れないようになっている』の記載がある事に気づきました。

問題点の明確化

図2.検査室別

検査、処置行為が
人目に触れる割合



活動計画

図3.ガントチャート

活動手段	担当者	6	7	8	9	10	11	作成日
テーマ選定	原田 高見	予定	実施					7.14
現状把握	萩森 山下	予定	実施					8.10
要因解析	荒上 文秀	予定	実施					9.15
対策立案	林 高見	予定	実施					10.20
効果の確認	浜永 林	予定	実施					10.31
標準化と 管理の定着	高見 荒上	予定	実施					11.1
今後の課題	山下 原田	予定	実施					11.1

テーマ決定

一般撮影室における
患者様のプライバシーを守ろう

サークルチーム名	フラッシュ サークル	(平成 3年 4月 結成)		テーマ歴: 32 件目	
リーダー氏名(職種)	荒上 文秀 (診療放射線技師)	所属部門	医療技術	月あたり 会合回数	5 回
リーダー経験年数	5年 0ヶ月	QCストーリー	問題解決型	平均会合時間	30 分
メンバーの数	計 7 名 うち 男 3名 うち 女 4名	活動内容	CS・モラル	平均会合出席率	93 %

現状把握 1



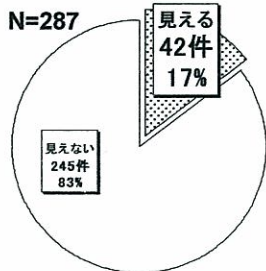
【業務フローを基に、プライバシーに関わる問題点を洗い出した】

- 2: 順番待ちの患者様から撮影室内が見える
- 6: 車椅子の方は更衣室に入らず、着替えが見える
- 7: 撮影部位の説明が、撮影待ちの患者様に聞こえる
- 9: モニター確認時、他の患者様に画像が見える

★ 直ぐに対策可能と考えられる6・7・9の問題に関しては、対策を立案・実施し効果の確認を行う事にした★

現状把握 2

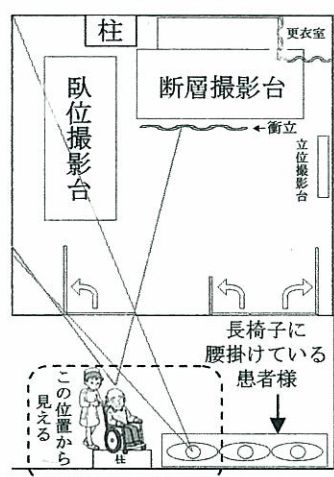
図7. 順番待ちの患者様から撮影中の患者様が見える割合



調査期間：
平成18年7月1～14日

調査期間中、順番待ちの患者様から撮影中の患者様が見えたのは42件で、全体の17%もあることがわかった。
又、見えたのは臥位撮影台を使用した撮影と言う事がわかった。

図8.一般撮影室の見取り図



対策の立案実施及び、効果の確認

図5. 5W1H+効果の確認

No	なぜ	何を	誰が	いつ	どこで	どうする	効果の確認
6	車椅子の患者様の更衣が、待合室から見えぬ様に	撮影室入り口に衝立	一般撮影担当者	車椅子の患者様更衣時	一般撮影室	置く	調査期間
7	撮影部位の説明が待合室の患者様に聞こえない様に	撮影室入口の扉	一般撮影担当者	撮影部位説明時	一般撮影室	閉める	7月1日～14日
9	モニターの画像が、他の患者様に見えぬ様に	モニターの向き	原田	7月1日	一般撮影室	変える	問題発生0件！

標準化と管理の定着

図6.5W1H

項目	なぜ	何を	誰が	いつ	どこで	どうする
標準化	患者様のプライバシーを守る	一般撮影手順書	荒上	6月30日	放射線科	改訂した
教育	一般撮影検査の流れ	所属長	新入職時			説明指導する
管理	対策が確実に実施されているか	放射線科スタッフ	撮影時	一般撮影室	チェックする	
	対策を実施出来なかった原因		対策実施出来なかった時	放射線科	調べ、対策を立案する	

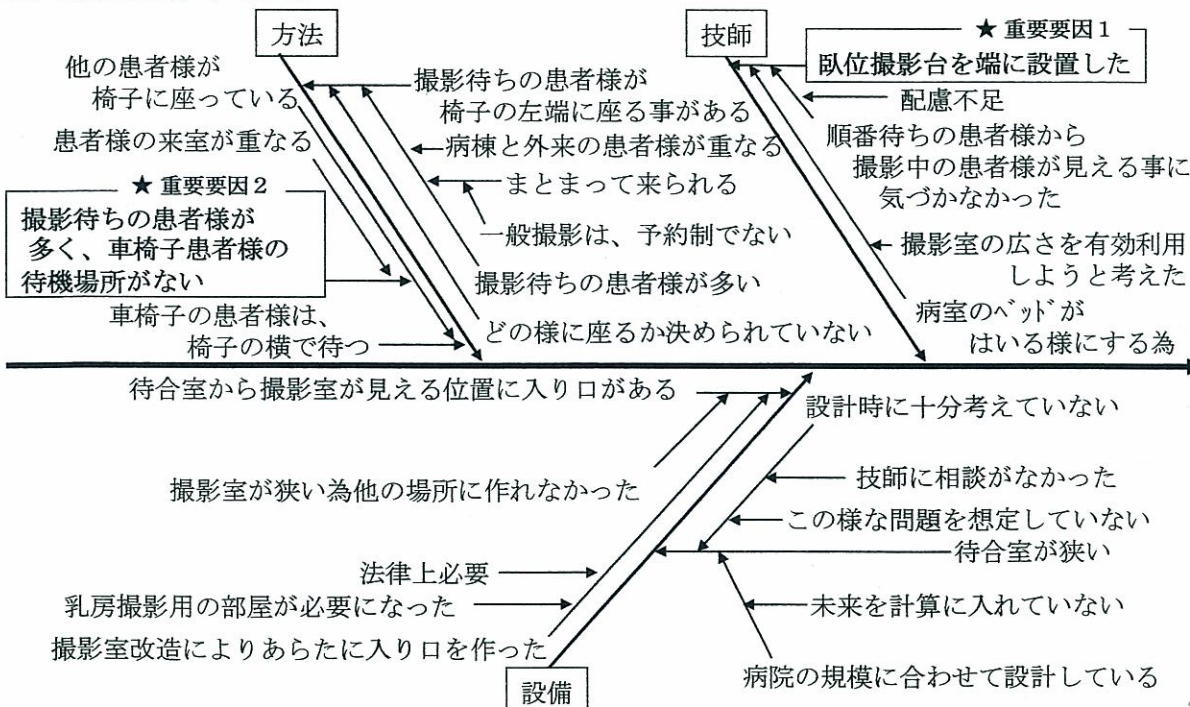
目標設定

図9.目標設定

何を	臥位撮影台を使用した撮影時、順番待ちの患者様から撮影中の患者様が見える42件
いつまでに	平成19年10月20日
どうする	0件にする
根拠	患者様のプライバシーを守る為0件にする必要がある

要因解析

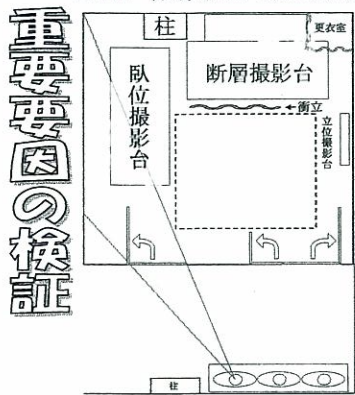
図10.特性要因図



臥位撮影台を使用した撮影時、順番待ちの患者様から撮影中の患者様が見える

【重要要因1】臥位撮影台を端に設置した

図11.一般撮影室の見取り図



椅子の左端に腰掛けてある患者様や、車椅子の患者様の視界に入らない場所に臥位撮影台を設置していれば、撮影中の患者様は見えない。

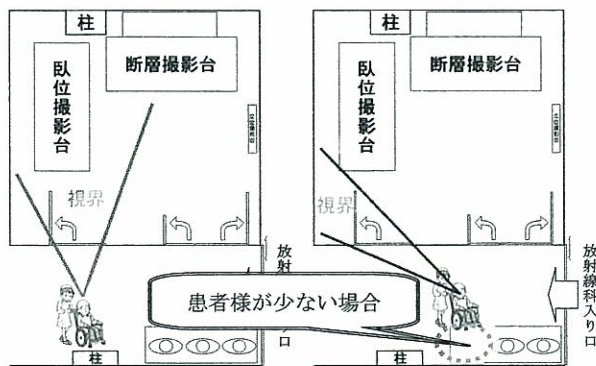
このことから真の要因である。



【重要要因2】

撮影待ちの患者様が多く車椅子患者様の待機場所がない

図12.一般撮影室の見取り図



撮影待ちの患者様が少なくない場合、撮影室内部が見えない位置でお待ち頂ける。このことから真の要因である。

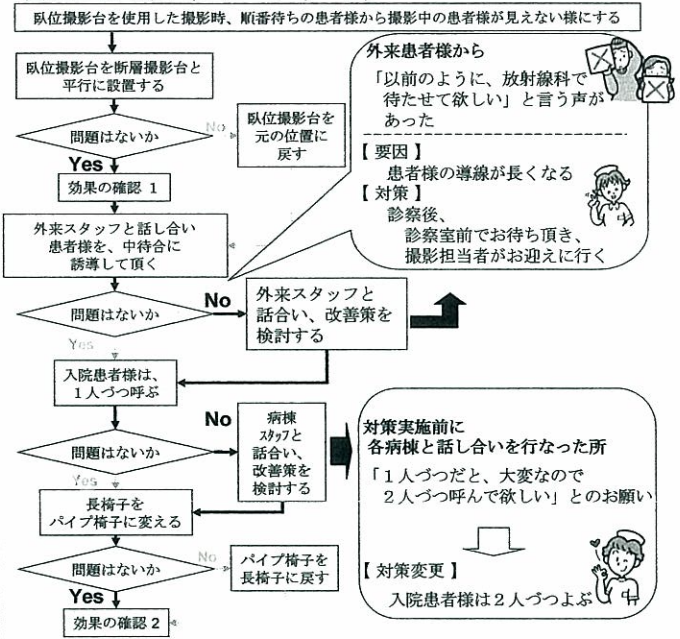
対策の立案

図13.系統図

特性	重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	実現性	効果	金額	点数	採否
臥位撮影台を使用した撮影時、順番待ちの患者様から撮影中の患者様が見えない	臥位撮影台を端に設置した	臥位撮影台の設置場所を変える	臥位撮影台を待ち患者様の視界に入らない場所に移動する	断層撮影台と臥位撮影台を平行に設置する	△	◎	△	9	
				臥位撮影台を断層撮影台と平行に設置する	◎	◎	◎	15	★
				現在設置している場所から平行にずらす	△	○	△	8	
				断層撮影台を廃棄し、その場所に置く	△	◎	△	9	
	撮影待ちの患者様が多く、車椅子の待機場所がない	待機場所をつくる	車椅子患者様の待機場所をつくる	幅の狭い椅子を購入する	○	◎	○	13	
				長椅子をパイプ椅子に変える	◎	◎	◎	15	★
				入院・外来とも別の場所でお待ち頂く	○	◎	◎	14	
				一人づつ呼ぶ	◎	◎	◎	15	★
		放射線科での撮影待ちの患者様を減らす	入院患者様がまとまって来ない様にする	全員ポータブルで撮影する	△	△	◎	13	
				完全予約制にする	△	◎	◎	12	
				一人づつ連れて来てもらう	△	◎	◎	12	
				医事課の前でお待ち頂く	○	◎	◎	14	
	外来患者様がまとまって来ない様にする			誘導先を放射線科から中待合に変更してもらう	◎	◎	◎	15	★

【対策実施計画】

図14.PDPC法（フローチャート）

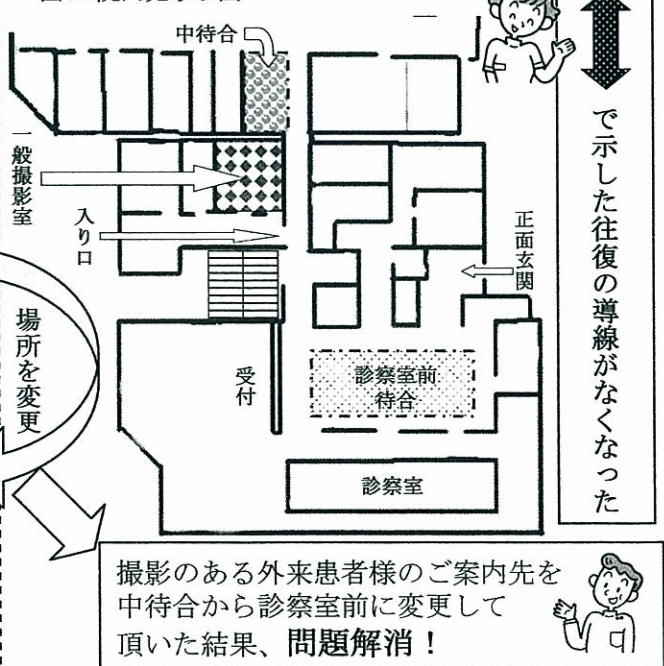


対策実施

図15.5W1H

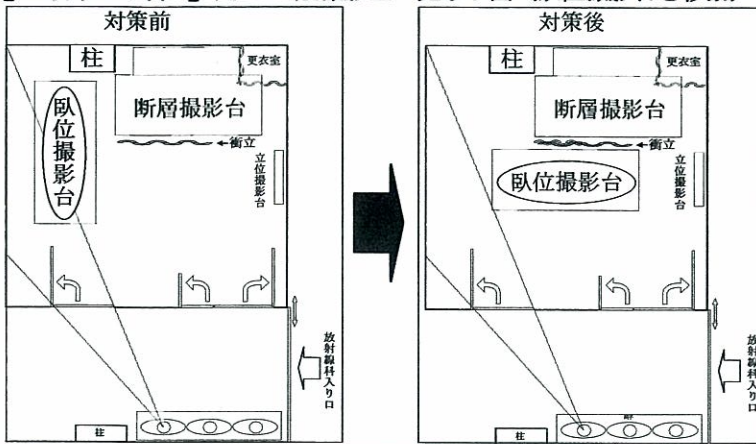
なぜ	何を	いつ	どこで	誰が	どうする
臥位撮影台を使用した撮影時、順番待ちの患者様から撮影中の患者様が見えない様にする	臥位撮影台	9月23日	一般撮影室	メンバー	断層撮影台と平行に設置する
	問題がないか	9月23～29日		撮影担当者	確認する
	効果の確認1	10月1～14日		実施する	
	外来患者様を中待合に誘導して頂く	10月13日	外来	放射線科と外来スタッフ	話し合う
	撮影のある外来患者様	10月15日から	中待合	外来スタッフ	誘導する
	撮影待ちの外来患者様			撮影担当者	迎えに行く
	問題がないか			確認する	
	外来患者様の不満の声を無くす為	10月18日	外来	放射線科と外来スタッフ	話し合う
		10月19日から	診察室前	外来スタッフ	誘導する
					迎えに行く
	問題がないか	10月19～21日	一般撮影室	撮影担当者	確認する
	撮影のある入院患者様	10月15日から			2人づつ呼ぶ
	問題がないか	10月15～21日			確認する
	効果の確認2	10月22日～11月4日			実施する

図16.院内見取り図



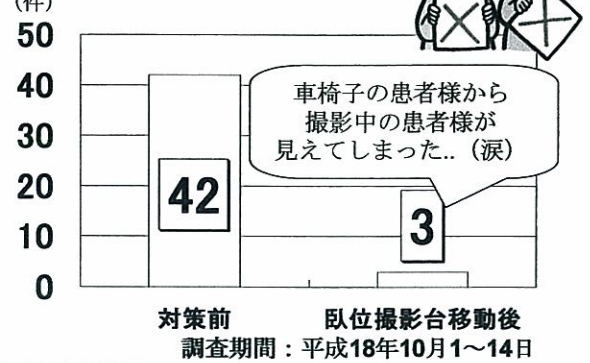
撮影のある外来患者様のご案内先を中待合から診察室前に変更して頂いた結果、問題解消！

【対策内容】図17.一般撮影室の見取り図（臥位撮影台を移動）



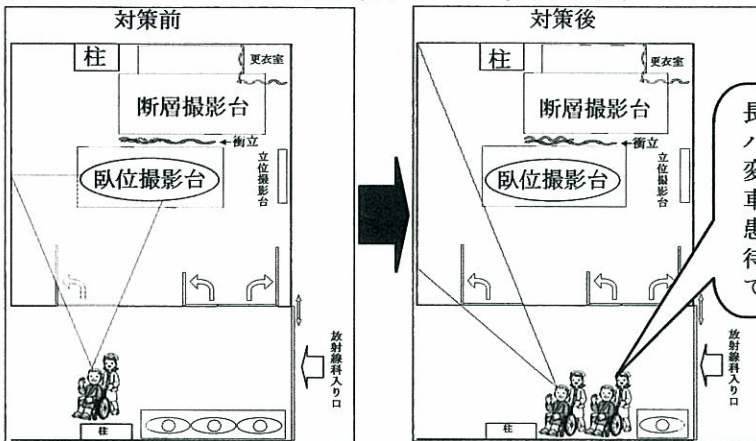
効果の確認1 【有形効果】

図18.順番待ちの患者様から撮影中の患者様が見える件数



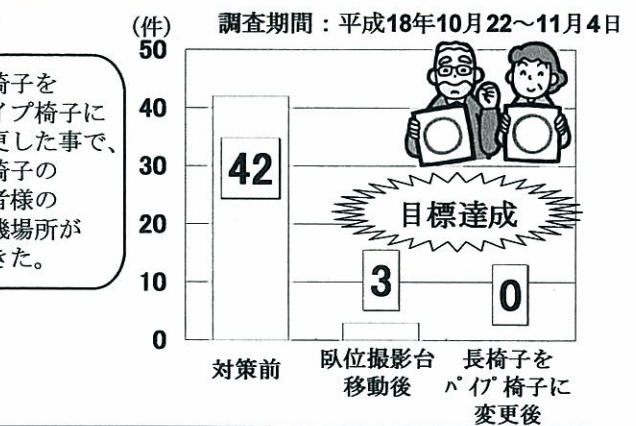
【対策内容】

図19.一般撮影室の見取り図（長椅子をパイプ椅子に変更）



効果の確認2 【有形効果】

図20.順番待ちの患者様から撮影中の患者様が見える件数



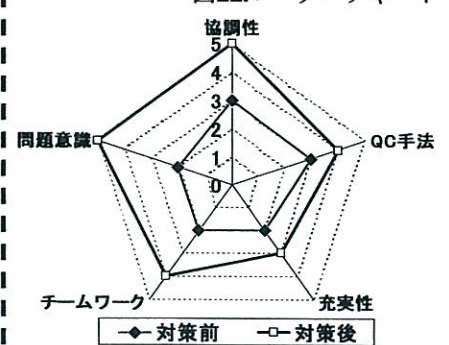
【波及効果】

図21.マトリックス図（図1.と同じ物です）

評価点	10	9	8	ウェイト付け		4	3	5	5	3	4	総合評価点	順位	
	方針			上位方針	評価項目	改善要求度		メンバーの		評価				
	病院方針に マッチする	放射線科の 方針に マッチする	サークルの方 針に マッチする			緊急	自分達で 解決できる	メンバーの 意見で 解決できる						
	立位撮影後、臥位撮影を行う患者様の導線が短くなる事で、患者様からの「キツイ」の声も無くなった。													
135												255	1	
108	○	△	○	患者様からクレームがある。		△	△	△	△	△	△	48	156	8
108	○	△	○	立位撮影台から臥位撮影台に移る時、患者様から「キツイ」の声が出る。		△	○	△	○	○	○	93	201	4

【無形効果】

図22.レーダーチャート



標準化と管理の定着

図23.5W1H

項目	なぜ	なにを	誰が	いつ	どこで	どうする
標準化	臥位撮影台を使用した撮影時、順番待ちの患者様から撮影中の患者様が見えるのを防止する	一般撮影手順書	荒上	11月5日		改訂した
教育		一般撮影検査の流れ	所属長	新入職時		説明・指導する
管理		問題が発生した件数	一般撮影担当者	問題発生時	放射線科	所属長に報告する
		問題の解決策	所属長	毎月末		集計する
			スタッフ	イレギュラー発生時		立案・検証し実施する

反省と今後の課題

図24.

	良い点・反省点	今後の計画	いつまでに
サークル運営面	○会合を定期的に開催できた ○他部署の協力が得られ、スムーズに改善できた ●報告書作成に手間取った	報告書提出の15日位前に報告書が出来る様にする	今後も継続 次回の活動
テーマ解決のステップ	○患者様の事を考えた取り組みを行えた ●効果の確認に時間がかかった	声には出ない患者様の不満を見つけていく 対策立案までを早めに行う	今後も継続 次回の活動
今後の課題	今回の活動では、サークルメンバーだけでなく関連部署と連携し改善する事が重要だとわかった。今後は他部署との連携を図り、患者様の導線等自部署だけでは解決できない問題に対しても改善を行なっていきます。		